

2011年8月1日

発行

大阪医科大学附属病院

◆病院の理念◆

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに、良識ある人間性豊かな医療人を育成します。



周産期センターの改修を終えて

周産期センター 萩原 享

周産期センター、あるいは NICU というところは、一般の方には馴染みが薄いかも知れませんが、主に、1,000g にも満たないような、小さな赤ちゃんを救うために特化した施設です。今にも消え入りそうな命を守るために、想像以上の労力と人手が必要ですし、また、極度に専門化された技術、知識を要します。当院では、そのような高度な周産期医療を展開するために、今から30年も昔、1981年に周産期センターを立ち上げました。当時としては最新鋭の設備を備え、並々ならぬ気概にあふれたセンターでありましたが、さすがに耐用限界に近づき、老朽化の色濃く、ついに今回の改修に至りました。幸いにも、関係者の皆様の献身的なご尽力によって、厳しい制約のもとでよくここまで、というくらい、きれいで、しかも機能的な仕上がりになりました。

当センターの治療成績は、世界で最も高水準といわれるわが国においても、トップクラスを維持しています。しかしながら、当センターの最大の特色は、そのような高度な専門医療を提供しながらも、そうした施設にありがちな、クールで「機能的な」雰囲気ではなく、センター全体が「やさしい空気」に包み込まれていることです。あふれる笑顔が、その何よりの証しです。

今後も、こうした雰囲気を大切にしながら、ぶれることなく、流行を追うことなく、「大学病院としての周産期センター」の使命を果たすべく、鋭意努力してまいります。とくに近隣の産婦人科の先生方には、母体搬送を通じての、なお一層の温かいご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



NICU



授乳室

情報コーナー

麻疹について

最近、関東地方を中心に麻疹(はしか)が流行しました。予防を心がけてください。

●麻疹(はしか)とは?

麻疹ウイルスによる急性感染症で、乳幼児を中心に発生しますが成人は重症化しやすいとされています。感染経路として、咳などからだけでなく、同室にいるだけで感染する感染力の強い病気です。感染後10~12日後に発熱(38℃前後)と共に咳、鼻水、くしゃみ、結膜の充血などの症状が現れ、その後高熱(39.5℃以上)と共に発疹が出現するのが一般的です。世界保健機関(WHO)では「2012年までに西太平洋地域の麻しん撲滅」という目標を定め、日本でも排除に向けた取り組みが進められています。

●予防について!

麻疹は、ワクチン接種により95~98%の割合で免疫ができ、インフルエンザのような治療薬がなくワクチン接種が重要です。麻疹の罹患歴がない、または不明な方、教育・福祉関係者、被災地でのボランティア活動や海外旅行を予定している方々は、定期接種対象外であっても積極的に麻疹予防接種を受けてください。なお当院では予防接種を実施しておりませんので、接種を希望される場合は、保健所などに相談していただく必要があります。ご不便をおかけしますが、よろしくお願ひします。

感染対策室 浮村 聰

地上デジタル化にご協力ありがとうございました

本年7月24日に地上テレビ放送は完全にデジタル放送に移行され、アナログ放送が終了いたしました。入院患者様には何かとご迷惑をおかけいたしましたが、病室の配線工事、デジタルテレビへの入れ替え作業など無事完了することができました。ご協力ありがとうございました。

6月から“助産師外来”がスタートしました。

妊婦の皆様のお越しをお待ちしています！

産科病棟 助産師 西村 美津子

6月から、本院、産科・内分泌科外来（産婦人科外来）で“助産師外来”を開設しました。

助産師外来は、助産師が妊婦さんや産後の褥婦さんのご意向を尊重しながら、健診や指導などを行う外来です。

妊娠 16 週を過ぎた妊婦さんで、まず医師診察を受けていただき、正常な経過をたどっておられる方が、助産師外来を受診することができます。健診は 1 回おきに医師と交代で行いますので、心配な場合はすぐに医師に相談したり、診察を受けることができます。

助産師外来には大きく4つのメリットがあります。

まず1つ目は、妊婦さんの不安や心配、悩みなど、ゆっくりとお話を聴き、指導させていただくことができます。このことで助産師と面識ができる、質問もしやすくなり、安心感が生まれます。

2つ目に、十分に指導させていただくことで、妊娠中に起こる異常を未然に防ぐことができます。

3つ目に、妊婦さん自身が妊娠中の健康を自分で管理できるようになり、産む力を引き出すことができます。

4つ目に、妊娠・出産が母親としての自信につながり、その後の育児に積極的に取り組むことができるようになります。

多くの女性の人生で、出産はわずか2~3回のことです。その出産が、妊婦さんご自身を輝かせ、母親としての豊かな経験となるように、助産師としてお手伝いさせていただくことができれば、これ以上の喜びはありません！

ご希望の方は、ご遠慮なく産科・内分泌科外来（産婦人科外来）でお尋ねください。助産師一同、心よりお待ちしております。



「ストレス・ケア外来」開設のお知らせ

皮膚科 上田 英一郎

●あなたの皮膚疾患は思ったよりストレスと関係があるかもしれません

アトピー性皮膚炎をはじめ、人目につくところに症状がでる皮膚疾患は患者様にとって大きなストレスとなっていることがあります。また、それが理由で対人関係などのストレスが増幅され、さまざまな日常生活に影響が出てくる場合があります。これまでの皮膚科的な治療だけではなかなか症状が改善しない、良くなる気がしないと感じられている方も多いのではないでしょうか？ そんな時は、ストレス・ケア外来でストレス対処法について考えてみましょう。

●ストレス・ケア外来では何をするの？

今、患者様が困っておられる皮膚疾患の増悪や治癒の遷延化にストレスが関係していないか一緒に考えます。同時に、食事のバランス、しっかりと睡眠が取れているか、安眠を妨げているものはないか、というような基本的な生活の見直しも行います。リラクゼーションの技法や、必要に応じて専門的な心理技法（EMDR：眼球運動による脱感作と再処理法）も用いて統合的な治療を行います（一部の心理技法は自費となります）。

診察日：毎週水曜日

カウンセリング料金：自費 1枠（20分） 5,000円

※診察1回につき1~3枠分必要（予約制）

（診療時間に応じて枠分の料金が発生します）

